

おおたわら

# 社協だより

2018  
12月号

発行所 大田原市浅香3-3578-17  
大田原市福祉センター内  
社会福祉法人  
大田原市社会福祉協議会

発行人 会長 津久井 富雄

発行日 平成30年12月1日

印刷所 (株)近代工房

Ohtawara Shakyo Dayori

(第213号)

あっちでも、こっちでも赤い羽根  
おおたわらの地域福祉活動を応援する  
**赤い羽根共同募金運動を実施中**



いきいきクラブ発表会で  
の募金活動



総勢250名のボランティアの皆さんによる街頭募金活動

## 目次

P1…………… 赤い羽根共同募金街頭募金

P2…………… 大田原市社会福祉法人連總會設立總會  
第三者委員会

P3…………… 寄付報告・地域福祉活動計画策定  
教育支援資金・生活困窮者自立支援事業

P4~5… 各地区の活動紹介

P6…………… 茶話会・あすてらす・市社協カレンダー  
裏面から ボランティア情報誌「だいすき」

P1…………… 赤い羽根共同募金街頭募金ボランティア

P2…………… 災害ボランティア講座

# 大田原市社会福祉法人の連携・協創による

## 取り組みがスタートします

社会福祉法人連絡会が設立されました。

社会福祉法人は、社会福祉事業を行うことを目的として設立された公益法人であり、社会福祉法改正により「地域における公益的な取り組み」を実施する責務があります。

法人連絡会は、大田原市内で事業運営をしている社会福祉法人の連絡会です。

それぞれの社会福祉法人の活動運営は、高齢・障がい・児童の分野等で福祉の向上を目指して事業を運営しています。「住みやすい安心して暮らせる地域のために新たな第一歩」として、各法人の専門分野の知識や経験を活かし、これまで以上に社会福祉法人同士のつながりを深め、地域の皆さまと共に地域づくりを進めるものです。

「大田原市社会福祉法人連絡会」は、市内で活動する事業所、社会福祉法人で構成し、9月27日開催の設立総会では、16法人の代表者が参加して、地域における「制度の隙間の課題」や「複合的な課題」に対し、高齢・障がい・児童の分野の垣根を越えて取り組んで行くことを確認しました。

今後、連絡会では次のような活動に取り組むことを考えています。  
① 連絡会の活動等の広報紙発行や連絡会各法人の活動パンフレット作成など

② 地域における公益的な取り組み等の調査や情報発信と実践

③ 会員間（高齢・障がい・児童）の情報交換や研修会等の開催



### 第三者委員会

を設置しています

大田原市社会福祉協議会では、提供する福祉サービスの苦情を適切に解決するため、第三者委員会を設置し、福祉サービスに対する利用者の満足度を高め、利用者個人の権利擁護とサービス提供者として適切な運営ができるよう図っていきます。

#### ◆ 第三者評価の目的

福祉サービスを提供している事業者を公正・中立な立場から評価を行うことで、福祉サービスの質の向上と利用者へのより良い情報の提供を目的としています。

#### ◆ 第三者評価のメリット

利用者は、自分のニーズにあった事業者を選ぶことができます。

#### ◆ 第三者委員（敬称略）

- ・ 藤岡 明（民生委員児童委員）
- ・ 廣瀬 憲一（佐久山地区社協会長）
- ・ 星 京子（あすてらす生活支援員）
- ・ 菊池 恵子（くらしの会会長）
- ・ 大宮司 肇（両郷地区社協会長）
- ・ 小林 久子（湯津上地区社協会長）

（委嘱期間：平成29年1月1日～）

2019年12月31日

# 寄付報告

平成30年9月16日から11月15日までに、社会福祉のためにお寄せいただいた寄付の報告です。皆様の温かい善意に心より感謝申し上げます。

## ◆大田原市社会福祉協議会寄付

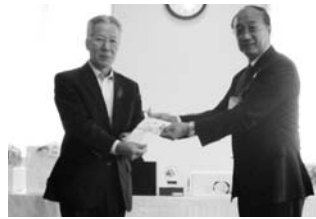
佐藤文輝与一声友会 様 .....30,000円  
 大田原市ゴルフのまちづくり実行委員会 様 .....43,000円  
 黒羽商工会女性部 様 .....6,080円  
 川上 聖子 様 .....20,000円  
 県北歌謡ふれあいの会 様 .....20,000円  
 匿名 .....1,000円

## ◆大田原市善意銀行寄付

康栄観光バス株式会社 様 .....ワゴン車1台  
 故・栗原 敏子 様 .....1,000,000円

## ◆大田原市地域福祉基金寄付

紫塚地区社会福祉協議会 様 .....20,000円



大田原市ゴルフのまちづくり  
実行委員会 様



康栄観光バス株式会社 様

## 第3次大田原市地域福祉計画・地域福祉活動計画(2019~2023年度)の策定について

現在私たちを取り巻く社会は、少子高齢化、人口減少そして、地域住民のつながりの希薄化、生活困窮など問題・課題は、複雑・多様化しています。このような中で、社会福祉法では、今後の社会福祉の基本理念として「地域福祉の推進」を掲げています。

第3次大田原市地域福祉計画・地域福祉活動計画では、「地域共生社会の実現」誰もが住み良い地域づくりを目指し、住民に最も近い行政機関である大田原市(行政)が住民をはじめ、市社会福祉協議会や関係団体等が、地域の問題・課題を解決するための住民同士の支え合いや福祉サービスを

はじめ様々な取り組みが同じ方向性を持って取り組めるように住民の意見をまとめ、更に国のガイドラインに沿った自殺対策、生活困窮者支援等様々な計画に盛り込むべき事項を含めて計画を策定するものです。

「地域の問題や課題解決力を高める」ために

第二次大田原市地域福祉計画・地域福祉活動計画

提言

思いをハトントンタッチ

第三次大田原市地域福祉計画・地域福祉活動計画

## 進学費用や授業料等のお悩みについて

# 教育支援資金のご案内

教育支援資金は、世帯収入が一定基準以下の世帯を対象に、高等学校や大学などの入学時や在学中に必要な経費を貸付し、進学や将来の就職に向けて支援する制度です。

### <教育支援資金の種類・内容>

資金の種類	就学支度費	教育支援費
経費内容	入学時に必要な諸経費	在学中に必要な諸経費
貸付限度額	500,000円以内	高等学校 月35,000円 高等専門学校 月60,000円以内 短期大学 (専修学校専門課程含む) 月60,000円以内 大学 月65,000円以内
据置期間	卒業後6月以内	
償還期間	据置期間経過後20年以内	

※貸付には条件がございます。栃木県社会福祉協議会を実施主体として、市社協が相談、申請の窓口となっています。まずは、お早めに市社協までご相談ください。

生活困窮者  
自立相談支援事業

生活・仕事の不安や心配をひとりで悩まずご相談ください。

あなたの悩みに寄り添って、あなたに合った支援を一緒に考えていきます。深刻化する前に、早めにご相談ください。

- 借金
- 失業
- ホームレス
- 滞納
- 求職活動
- ひきこもり
- 低収入
- ニート
- その他

連絡先

大田原市社会福祉協議会  
自立相談係

(平日8時30分~5時15分)

電話 0287(23)1130





# 笑顔がたくさん 地域のつながりが生まれています

毎月  
第1・3  
木曜日

西部地区あったかおもいやりの会  
**西原ふれあいサロン**



西原自治公民館を会場に、ふれあいサロンを開催しています。体操や輪投げなど体を動かしたり、指先を使う手芸などしています。

7月  
5日  
木曜日

東部地区見守り隊・東部地区協議体  
**地域資源調査会議**



大田原東地区公民館で、「地域資源調査会議」を開催しました。

見守り隊員、民生委員児童委員、福祉委員、協議体委員等、約120名が参加し、地図に地域資源(生活支援に活用できるヒト・モノ・自然・財源・情報など)を書き込み、地域の宝物を再発見しました。

11月  
10日  
土曜日

金田地区おもいやり隊  
**金田地区文化祭**



金田北地区公民館を会場に、金田地区文化祭が開催され、金田地区おもいやり隊は活動PRのために参加しました。

9月  
15日  
土曜日

紫塚地区社会福祉協議会・紫塚地区見守り隊  
**ふれあい紫広場**



紫塚小学校を会場に、紫塚地区社協の「ふれあい紫広場」を開催しました。また、紫塚地区見守り隊は、活動PRのために参加しました。

11月  
10日  
土曜日

野崎地区見守り隊  
**声かけ訓練**



野崎研修センター周辺の歩道を利用し、認知症の方への声かけ訓練を行いました。

8月  
22日  
水曜日

ちかその思いやり隊  
**親園地区文化祭**



親園中学校で開催された「親園地区文化祭」で、玉こんにゃくの販売やバザーを行いました。

6月  
20日  
水曜日

湯津上地区社会福祉協議会・ゆづかみ見守り隊  
**ふれあいお楽しみ会**



湯津上地区公民館で、一人暮らし高齢者等を招待しました。健康体操やマジックショーで楽しみ、手作りのおいしいお昼をみんなでいただきました。

8月  
24日  
金曜日

佐久山おもいやり隊  
**会食会**



佐久山地区公民館で、会食会を開催しました。佐久山小学校の児童と一緒にゲームも楽しみました。

10月  
26日  
金曜日

川西地区見守り隊  
**おやまだい おひさまカフェ**



地域に暮らす人たちが集まれる居場所として毎月活動しています。参加者は自由にお茶を飲んだり、おしゃべりをしたりして楽しい時間を過ごしています。

10月  
27日  
土曜日

黒羽見守り助け合い隊  
**茶わ会** (北区・堀之内・南区西・南区東)



年3回、地域ごとに茶わ会を開催しています。プログラムは黒羽盛り上げ隊の大学生たちが企画し、今回は「買いものゲーム」で盛り上がりました。ゲームの後は、参加者と学生でお茶のみ話が弾みました。

10月  
11日  
木曜日

須賀川地区見守り隊・須賀川地区社会福祉協議会  
**買い物ツアー**



高齢者を対象とした買い物ツアーを実施しました。みんなでバスに乗り、那須塩原市のスーパーまで行きました。食べ物や衣料品など、自分の目で好きなものを選び買い物を楽しみました。

11月  
3日  
日曜日

両郷地区社会福祉協議会  
**ふれあいサロン**



一人暮らしなどの高齢者を対象とした会食会を開催しました。「尺八黒羽ほほえみ会」の演奏を聴き、懐かしい曲を口ずさみました。お昼は、給食ボランティアが作った出来立てのお弁当を食べました。

**地域安全のつどい 表彰**

黒羽地区見守り助け合い隊、川西地区見守り隊が防犯ボランティア団体として大田原警察署、大田原市防犯協会より表彰を受けました。おめでとうございます。

**第43回地域安全県民のつどい 表彰**

両郷地区見守り隊、黒羽盛り上げ隊(国際医療福祉大学ボランティアサークル)が功労ボランティア団体として、栃木県警察本部長、栃木県防犯協会長表彰を受けました。おめでとうございます。

## 心配ごと相談日・市社協の主な行事予定

日	月	火	水	木	金	土
						12/1
2	3	4	5	6	7	8
	湯津上地区小地域福祉計画策定委員会		湯 心配ごと 13時～16時	黒 心配ごと 9時～正午 西部地区西原ふれあいサロン	大 心配ごと 9時～正午 西部地区西原地区茶話会 親園地区民生委員との情報交換会	
9	10	11	12	13	14	15
			東部地区第3回協議体会議	紫塚地区見守り隊隊員研修	大 心配ごと 9時～正午 佐久山地区協議体会議	野崎上薄葉地区居場所活動
16	17	18	19	20	21	22
	野崎ニュータウン地区ふれあいのミニサロン 西部地区原町地区茶話会		第2回理事会 親園地区協議体会議	黒 心配ごと 9時～正午	大 心配ごと 9時～正午 川西地区おひさまカフェ	
23	24	25	26	27	28	29
天皇誕生日	振替休日		第2回評議員会		大 心配ごと 9時～正午	
30	31	H31.1/1	2	3	4	5
		元旦			大 心配ごと 9時～正午	
6	7	8	9	10	11	12
			湯 心配ごと 13時～16時		大 心配ごと 9時～正午	
13	14	15	16	17	18	19
	成人の日			黒 心配ごと 9時～正午	大 心配ごと 9時～正午	野崎上薄葉地区居場所活動
20	21	22	23	24	25	26
	平成30年度共同募金公募助成審査委員会				大 心配ごと 9時～正午 東部地区見守り隊第3回チーム会議	
27	28	29	30	31	2/1	2
				野崎地区見守り隊子チーム隊長会議	大 心配ごと 9時～正午	
3	4	5	6	7	8	9
			湯 心配ごと 13時～16時	黒 心配ごと 9時～正午	大 心配ごと 9時～正午	

### ◆心配ごと相談

地区	会場	連絡先
大 大田原	市福祉センター	23-1130
湯 湯津上	佐良士多目的交流センター	98-3715
黒 黒羽	市社協黒羽支所	54-1849

※民生委員児童委員が相談に応じます。秘密は守られます。

### ◆ボランティア相談

「ボランティア活動したい」「ボランティア活動して欲しい」などの相談に市社協職員が応じます。月～金曜日午前9時～午後5時（祝祭日、年末年始除く）場所：市社協本所  
 ※人権相談：行政相談については、市広報紙・「大田原市ホームページ」(<http://www.city.ohawara.tochigi.jp/>) をご覧ください。

地域の方をご招待

## 福原小学校茶話会

みんなが笑顔になりました



10月2日に、福原小学校の4年生が、地域の高齢者の方々に学校に招いて、茶話会を開催しました。  
 当日は子どもたちが準備していたおはじき遊びやお手玉、輪投げなど、昔懐かしい遊びの他に、リコーダーや歌の発表を聞

久しぶりのお手玉できるかな？



くなどして、子どもたちと一緒にとても楽しい時間を過ごしました。  
 参加した地域の方からは、「久しぶりに小学校に来ることができて、とても楽しかった。」「また呼んでもらいたい。」といった声が聞こえました。

## あすてらす

あすてらす（日常生活自立支援事業）とは…  
 認知症高齢者・知的障がい者・精神障がい者に対し、福祉サービスの利用援助や日常的な金銭管理などの援助を行うことにより、在宅での自立した生活を送ることを支援するものです。  
 市町社協（基幹的社協）に配置された専門員が利用者の各種相談に応じるとともに、利用者ごとに適切な援助内容を定め、生活支援員が利用者ごとに直接援助を行います。

### ○支援サービスの内容

- ・福祉サービスの利用援助
- ・日常的な金銭管理サービス
- ・書類等預かりサービス

### 保管できる書類

- |        |          |
|--------|----------|
| 1 年金証書 | 2 貯金通帳   |
| 3 権利証  | 4 契約書類   |
| 5 保険証  | 6 実印・銀行印 |

※預かることができないもの

宝石、書画、骨董品、貴重品、株券、小切手など

問合せ先 ☎0287-23-7375



そのとき!

# あなたは、何ができますか?

平成30年度 災害にも強い地域づくり事業

災害ボランティア講座

**災害はいつか必ず起きるもの…わかってはいるけれど、自分は何ができるのだろう?**

9月29日に大田原西地区公民館で、**災害ボランティア講座**を開催しました。講師として認定NPO法人とちぎボランティアネットワーク災害担当理事の**柴田貴史氏**をお招きし、88名の受講者が学びを深めました。今回の講座では、この地域で災害が起きたとき、市外から駆けつけるボランティアよりも、まず地元住民だからこそできること、気づける視点、必要な活動などについて、**受講者がそれぞれの強みを活かすこと**の大切さを、グループワークを通じて発見しました。

受講者は、決してどこか遠い地の出来事ではない災害について、**当事者意識**をもって考えられるボランティアとして、第一歩を踏み出しました。



**10代から70代まで幅広い年代の受講者が、大田原市で起きた災害を想定し、助け合いの活動について真剣に話し合いました。**

## 災害支援の鉄則です!

- 1 “なんとなく助け合える関係”を日頃から作る
- 2 得意なことを活かして、できることを探す
- 3 得た情報を“考えて”から行動に移す
- 4 みんなが意見を言える雰囲気作りを心がける



柴田貴史 先生



**受講者には災害ボランティア登録証が授与されました。今後のご活躍を期待します!**

### 受講者の感想よい

近所に住む避難に介助が必要な人を日頃から把握しておきたい。いざというときにお手伝いする。(60代 男性)

自社は避難所として活用できる可能性があるなので、そのあたりを含めて計画を立てていきたい。(30代 男性)

外部の支援に頼るだけでなく、避難者同士の支え合いや、顔見知りだからこそできる活動が大切だと思う。(10代 女性)



ボランティア  
情報紙

# だいすき

## 赤い羽根共同募金 街頭募金

ボランティア  
紹介コーナー

# 自分のまちを良くするために ボランティアの声が地域に響く!

10月1日から始まった赤い羽根共同募金の街頭募金では、中学生から大人まで、たくさんのボランティアの方が活躍しました。

湯津上中学校生徒のみなさん



大田原女子高等学校生徒のみなさん



募金をしてくれた方のあたたかさを感じました。自分の町をよくすることを思って、また参加したいです。



楽しく参加できました。協力してくれる方が多く、ありがたいです。やりがいを感じ、良い経験になりました。

赤い羽根共同募金は、みんなが幸せになれる仕組みだと思います。

思っていたよりも緊張せず募金活動ができました。お子さんも募金に協力してくれて嬉しいです。

「頑張ってください!」と言って募金をしてくれて嬉しかった。活動を通して、このようなつながりが生まれるのですね。

ボランティア募集情報は、市社協ホームページのブログに掲載しています。



国際医療福祉大学学生のみなさん



女性団体連絡協議会のみなさん

大田原市社会福祉協議会は、みんなのふだんのくらしのしあわせを応援しています!

【本所】

浅香 3-3578-17  
大田原市福祉センター内  
☎ 23-1130・24-0294  
FAX 23-1138

あすてらす  
おおたわら  
☎ 23-7375

【湯津上支所】

佐良土 853  
佐良土多目的交流センター内  
☎ 98-3715  
FAX 98-8011



【黒羽支所】

黒羽田町 848  
☎ 54-1849  
FAX 54-2745

大田原市  
社会福祉協議会  
介護事業所